

編集後記

秋の中でも最も秋らしい10月を迎えて、皆様にはお忙しい日々をお送りのことと拝察申し上げます。リハビリテーションにおける医学や教育は各々の専門分野で果たすべき重要な役割を持っています。しかし、リハビリテーションにおける工学の役割は、医学的リハビリから社会的リハビリに至る全ての分野に関わり合わねばなりません。さらに、例えばリハビリテーション医学は障害の中でも、機能障害と能力低下に対してのみ有効であるにすぎません。しかし、リハビリテーション工学はここでも全ての障害のレベルに対して有効な技術を有しているといえます。

このように考えると、リハビリテーション工学が、リハビリテーションの凡ゆる分野で十分にその役割を果たせた時に、日本のリハビリテーションの十分な発展も期待出来ると考えられます。この点について、本特集の論文はやや義肢装具に偏った傾向はありますが、全体を概観した素晴らしい土屋氏の論文でこの点は補えるものと思います。

各々の論文のうち加倉井氏の論文は、長年にわたって切望されていた義肢装具のJIS規格が制定されたことが述べられており、長年にわたる関係者の御努力に敬意を表します。

山崎氏は、今までにも素晴らしい論文や発表を通じて多くの物をリハビリ医学関係者に与えて頂きました。今回は工学的モデルを通じての

予測手法を述べ、多くの問題にその可能性を示して下さいました。今後のより一層の成果を期待しています。

福井氏は、コンピュータを通じて、中枢神経障害の視覚運動について多くの業績を発表して来られました。今回はリハビリテーション医学におけるコンピュータ使用の現状と今後の展望を述べて頂きました。

田中氏は、日本における数少ない車いすの研究者であります。今回は、移動機能、駆動特性などについて、研究成果をまとめて頂くことが出来ました。いずれにしても諸氏の研究の一層の発展を願うものであります。

研究と報告には、宮崎氏らの難聴者に対する自動車の運転装置と首藤氏らの上肢電動義手の2本の論文を得ました。宮崎氏の論文は、聴覚障害者にとっての大きな福音となる画期的な装置の開発であります。一方、首藤氏らの論文は、サリドマイド児を対象に、息長く続けられ、わが国の電動義手の研究をリードして来た成果をまとめたものです。

その他にも、短報、講座など多くの素晴らしい力作が揃いました。筆者の不手際で詳しくふれるスペースがなくなりました。諸氏の御労苦に感謝し、今後もリハビリ医学の発展に力を貸して欲しいと願う次第であります。

(大川 嗣雄)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一郎
五 味 重 春
砂 原 茂 一
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
岩 倉 博 光
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周 一
小 島 蓉 子
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 欽
長 谷 川 恒 雄
初 山 泰 弘
福 井 園 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第14巻 第10号)

1986年10月10日発行 (毎月1回10日発行)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 椿 孝 雄

1 部 定 価 1,650円 (配送料60円)

(年ぎめ予約購読料 18,480円)
(送料弊社負担)

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 山田・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 685-3131

広告申込所 (株)東広社: 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1986, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。